



名古屋市立大学都市政策研究センター
「CUPRE」(ワーキングペーパー)

vol.1

(2025年1月刊行)



目次

- ・ 創刊にあたって（三宅センター長）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・ [参考資料]
 - 「都市政策研究センター オーラルヒストリープロジェクト」
の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・ オーラルヒストリープロジェクト No.1・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 「子ども青少年局の船出を担って」
佐合広利さん（初代名古屋市子ども青少年局長）
- ・ オーラルヒストリープロジェクト No.2・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - 「子どもの権利、子どもの社会参画のために」
小島千春さん（特定非営利活動法人 こども NPO 元理事長）
- ・ [研究ノート]
 - 「国家公務員の働き方・労働環境、PSM に関する一考察
ー中央省庁のクチコミデータの分析からー」（松村智史）・・・51

創刊にあたって

名古屋市立大学都市政策研究センターは、名古屋大都市圏が抱える多種多様な課題の解決を進めるため、平成30年5月に開設いたしました。全学的な共同研究体制のもと、地域課題の解決に寄与する調査・分析・提案を進めております。

開設以来、都市政策にかかるシンポジウム・セミナーの開催など、地方自治体の職員様はじめ市民の皆様が都市政策を学び・考える機会をご提供しております。

この度、センターの取り組む自主研究の成果を、ワーキングペーパー「CUPRE」として掲載していく運びとなりました。

我が国は、少子高齢社会を迎え、単身世帯の増加、外国人住民との共生、女性の社会進出子ども・子育て支援、医療・介護需要の増大などの課題が顕在化しております。一方、高度成長時代に整備したインフラの老朽化、更新・維持管理、大規模災害リスク増大への備えなど、持続可能な都市機能・都市生活の構築のための財源確保も課題となっております。

こうした行政はじめ地域社会、企業、市民などが対峙する都市の諸課題の研究・調査・分析を通し、地域に貢献していくことがセンターの設立目的であります。

総合大学としての調査力・分析力・提案力を活かし、行政、企業、市民と幅広く連携・協働することによって社会課題の解決に貢献してまいりたいと考えます。都市政策にかかる研究テーマは複雑・多様化しており、産・官・学・民の協働が求められます。本誌が、研究成果の発表の場として活用されるとともに、情報発信によって皆様の都市政策への関心を高める役割を果たすことを期待します。

2024年1月

都市政策研究センター長

三宅 勝